



支部だより vol.2015.No.3

日本物理教育学会九州支部

1 九州支部理事会（第2回；2015/12/21）より

○九州支部の2015年度総会・研究大会について

日本物理教育学会九州支部2015年度総会・研究大会を下の要領で開催します。多数の九州支部会員の皆さんの参加をお願い致します。研究大会での研究発表募集の詳細については追ってお知らせ致します。奮ってご応募ください。

<支部総会>

平成28年3月5日（土）12:30-13:30 於：熊本大学理学部 3号館D201 講義室

<支部研究大会>

平成28年3月5日（土）13:45-17:15 於：熊本大学理学部 3号館D201 講義室

主 催：日本物理教育学会九州支部

共 催：日本物理学会九州支部（予定）

後 援：熊本大学・熊本県教育委員会・熊本市教育委員会（予定）

研究発表：発表12分・質疑応答2分（計14分）で10件程度の発表

表彰式：優秀発表賞(学生)および優秀発表賞(一般)

閉 会：17:15頃

情報交換会：引き続き熊本市街で情報交換会（予定）

○本会委員会委員の改選について

支部から選出されている本会委員会委員は次の通りです。このうち、2016年3月で任期満了となる※印の委員について改選を行います。九州支部会員からの委員推薦（自薦を含む）を行います。詳細については、追って支部会員の皆さんにお知らせ致します。

<理 事> 副島 雄児（九州大学）2014/04～2016/03（次期継続予定）

<編 集 委 員>※越地 尚宏（久留米工業高等専門学校）2014/04～2016/03

<ニューズレター編集委員>※田尾周一郎（九州大学）2014/04～2016/03

<評 議 員>※池田 直（大分県立豊府中・高等学校）2014/04～2016/03

※小島健太郎（九州大学）2014/04～2016/03

※柴崎 幸貴（西南学院中学校高等学校）2014/04～2016/03

秋山 博臣（宮崎大学）2015/04～2017/03

井上 哲秀（福岡県立小倉高等学校）2015/04～2017/03

緒方 則彦（長崎県立長崎北陽台高等学校）2015/04～2017/03

福山 隆雄（長崎大学）2015/04～2017/03

<教育課程検討委員> 柴崎 幸貴（西南学院中学校高等学校）2015/04～2017/03

○2015年度支部会報の発行について

昨年度初めての九州支部会報「九州の物理教育」発行に続いて、今年度も会報を発行します。支部会員の皆さんからの投稿を歓迎します。投稿の詳細および投稿規定等については九州支部ホームページ

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~pesj-kyushu/>

等でお知らせします。

2 本会理事会（第3回；2015/12/19）より

12月19日（土）に、筑波大学附属高校にて理事会が開催されました。主な議事をお知らせします。

○学会の法人化について

本学会の法人化については「当面の間見送る」ことになりました。学会の現在の体制が法人化に耐え得るものとはなっていないと、法人化によって種々の支障が生じることが予想されるためです。今後は、法人化へ向けて体制の整備を行い、スムーズに法人へ移行するための準備を開始することになりました。これを受けて、各支部では、特に法人化後の支部の位置づけについて議論を行うことが要請されています。九州支部でも、今後支部会員の皆さんのご意見を伺いながら法人化へ向けた議論を進めて行きたいと思っております。議論の参考とすべき資料などを提示しながら意見の集約を行っていきますので、皆さんの積極的な参加をお願い致します。詳細については九州支部ホームページ等にてお知らせ致します。尚、各支部の意見は、新潟大学での研究大会前日に開催される評議員会および理事・評議員懇談会で報告し、議論されることになっています。

○2016年度の物理教育研究大会（於：新潟大学）について

2016年度年会（第33回物理教育研究大会）は、2016年8月6日（土）・7日（日）、新潟大学図書館・教育学部を会場として開催の予定です。大会テーマは「アクティブラーニングを実現する物理教育」です。大会では、通常の原著講演に加えて、特別講演としてケン・ヘラー氏（ミネソタ大学）の「協働的グループ問題解決法」、また、「日本の協働的グループ問題解決法」、「相互作用型演習実験講義」、「チュートリアル」をテーマとした3つのワークショップが予定されています。尚、前日の8月5日（金）には、評議員会および理事・評議員懇談会が開催されます。

○物理教育研シンポジウムの開催（予定）について

2016年3月27日（日）13:00～16:30、東京大学駒場キャンパス小柴ホールにて「アクティブラーニングをどう活かすか」をテーマとしたシンポジウムが開催されます。物理教育におけるアクティブラーニングとはどのようなものであるべきか、現状を踏まえた議論が行われる予定です。ホットな話題ですので、ご関心のある方はご参加ください。

以上

